

野間池で確認できた旅鳥

野間池は南さつま市笠沙町片浦にある「入り江」のことで、波静かな天然の良港として知られています。野間池周辺は地図で見ると東シナ海に突き出したような土地であることから、「海を渡る渡り鳥たちが途中で立ち寄りやすい場所」と考えられており、実際に多くの旅鳥(=春や秋の渡りの時期に通過するだけの鳥)を見ることができます。今回は、この春に確認できた旅鳥を紹介したいと思います。

ヤツガシラ



春と秋に渡りの途中で短期間立ち寄る旅鳥で、その特異な外見から人気の高い鳥です。アフリカからユーラシアの広い地域に分布する鳥ですが、国内への飛来は稀です。南西諸島や九州西部を中心に通過記録がありますが、これらは本来の渡りのルートから外れて飛来したものと考えられており、国内では数少ない旅鳥に挙げられています。この地では「春告げ鳥」として扱われており、毎年のように見ることができ、今春も、公民館前の芝生が貼られた広場で確認できました。

コホオアカ



ホオジロ科の小鳥で、頭部の模様と淡い赤褐色の頬が特徴的な鳥です。繁殖期はシベリアなど北方の草原・湿地にすみ、冬は東南アジア方面へ渡りますが、ごく少数が日本国内を通過するため、数少ない

旅鳥として挙げられています。今春は、15羽ほどの集団を目撃することができました。

シベリアアオジ



ホオジロ科の小鳥で、主にシベリアで繁殖し、冬は中国南部へ渡って越冬する鳥です。日本には少数が迷行すると考えられており、日本海側の島嶼や南西諸島で確認されることがある旅鳥です。この地域においては頻繁に確認されており、今春も前述のコホオアカの集団に混ざって確認できました。

台湾ハクセキレイ



セキレイ科の鳥で、シベリア北部などで繁殖し、台湾や東南アジアで越冬する鳥です。街中でも観察できるハクセキレイに似ていますが、背面が灰色で、嘴の下まで黒色であるなどの特徴から容易に見分けることができます。日本には春・秋の渡り期に少数が渡来するため、少ない旅鳥として記録される野鳥ですが、この地では毎春目撃され、今春もヤツガシラとともに確認することができました。

野間池周辺は、県内有数の探鳥地といっても過言ではないほど、さまざまな旅鳥を見ることができます。春の渡りはまだ続きます。旅鳥を探しに、この地を訪ねてみませんか。